

- ◆ 誰もが働きやすい魅力的な現場づくりを目指し、H28.12月に「東京外環プロジェクト・女性技術者の会」を設立し、さまざまな取り組みを行っているところ。R5.10.23(月)に第14回を開催しました。
- ◆ 今回は、住宅メーカーの女性監督を中心に活動されている「じゅうたく小町」様との合同企画となりました。

### ※開催概要

日時：令和5年10月23日(月) 14:00～17:00

場所：中央JCT北側事業地内インフォメーションルーム

参加者：「じゅうたく小町」より住宅メーカーの現場監督を中心とする**女性技術者19名**

「東京外環プロジェクト・女性技術者の会」より

国交省・NEXCO中日本・NEXCO東日本・施工業者・協力会社等の**女性技術者19名**

「土木技術者女性の会」より**女性技術者1名**（オブザーバー参加）

計 **女性技術者39名**、ほか男性7名

内容：現場見学・意見交換会

### ※主な内容

#### 【現場見学会】

- ・東京外環中央JCT北側Hランプシールド（その3）工事の現場を見学  
→ 担当の女性技術者に説明してもらい見学

#### 【意見交換会】

- ・自己紹介
- ・「現場の働き方」事例紹介  
外環の工事現場からとじゅうたく小町からそれぞれ1組ずつ、  
現場の取り組み状況や、ご自身の経験等について発表
- ・グループディスカッション（テーマは設けず、自由に意見交換）

#### ～グループディスカッションでの主な意見～

- ・現場でも理解を得られていて、男性・女性の差を感じる機会は少ない。
- ・女性の割合も増えてきていて、制度も充実していると感じる。
- ・事例紹介にあった「働き続けられる選択肢をどう与えられるか」という考え方が広まれば嬉しい。
- ・子育ては、後から思い出すと楽しい。
- ・フレックスタイム等の制度が導入されているが、現場では活用が難しい。
- ・育休明けに現場への復帰が少ない。（設計部など現場以外に帰ることが多い）
- ・キャリアは積みたいが、責任をすべて背負うのは難しいと感じる。
- ・住宅の現場はトイレが小さいか置けない。トイレに行けないことがある。
- ・生理について打ち明けるのは難しい。

など

